

化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50

指示医師:		
指導医師:		
投与開始予定日:	年	月 日
投与終了日:	年	月 日

病名	多発性骨髄腫
治療法	DLd療法

		1	2	3
抗癌剤・商品名		ダラザレックス	レブラミドカプセル	デカドロン錠
規格		100mg/5mL 400mg/20mL	5mg	4mg
一般名		ダラツムマブ	レナリドミド	デキサメタゾン
一日投与量(規定)		16mg/kg	25mg/day	40mg/day
患者情報から算出した一日投与量		800 mg	25mg/day	40mg/day
実際の投与量		800 mg	25mg/day	40mg/day
		16 mg/kg	25mg/day	40mg/day
投与日	1-2コース目	day1,8,15,22	day1-21	day1,8,15,22
	3-6コース目	day1,15		
	7コース目以降	day1		
1クール期間		28日間		
予定クール数				
検査スケジュール		原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて随時検査実施		

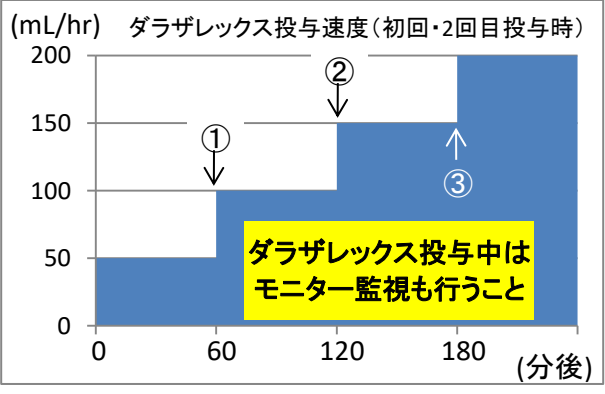
適応基準	多発性骨髄腫
推奨経口剤	○このレジメンは最小度催吐性リスク群です。静注、経口問わず制吐剤は不要です。
禁忌	1.本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2.妊婦又は妊娠している可能性のある女性患者 3.適正管理手順を遵守できない患者 4.デスマプレシン酢酸塩水和物(男性における夜間多尿による夜間頻尿)を投与中の患者
中止基準	投与前の好中球数:1000/mm ³ 未満、血小板数:50,000/mm ³ 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE ver.4.0 における Grade3 の血液毒性に準拠)
副作用	<p>●ダラザレックス</p> <p>重大 1.Infusion reaction 2.骨髄抑制 3.感染症 4.腫瘍崩壊症候群</p> <p>その他 (10%以上) 呼吸困難 (5%以上10%未満) 上気道感染、貧血、咳嗽、悪心、下痢、嘔吐、疲労、発熱</p> <p>●レブラミド</p> <p>重大 1.深部静脈血栓症(0.7%)、肺塞栓症(0.2%) 2.脳梗塞、一過性脳虚血発作(0.4%) 3.骨髄抑制 4.感染症(18.5%) 5.皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、中毒性表皮壊死症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)(0.1%) 6.腫瘍崩壊症候群(0.5%) 7.間質性肺疾患(1.2%) 8.心筋梗塞(頻度不明)、心不全(1.2%)、不整脈 9.末梢神経障害 10.甲状腺機能低下症(0.2%) 11.消化管穿孔(0.1%) 12.起立性低血圧(0.1%) 13.痙攣(0.1%) 14.肝機能障害、黄疸(6.0%) 15.重篤な腎障害(2.9%)</p> <p>その他 (5%以上) 便秘、発疹、倦怠感、腫瘍フレア (1~5%未満) 下痢、悪心、上気道の炎症、筋痙攣、食欲不振、味覚異常、不眠症、浮動性めまい、そう痒症 発熱、CRP増加、浮腫</p> <p>●デカドロン</p> <p>重大 1.誘発感染症、感染症の増悪(頻度不明) 2.続発性副腎皮質機能不全、糖尿病(頻度不明) 3.消化性潰瘍、消化管穿孔、肺炎(頻度不明) 4.精神変調、うつ状態、痙攣(頻度不明) 5.骨粗鬆症、骨頭無菌性壊死、ミオパシー、脊椎圧迫骨折、長骨の病的骨折(頻度不明) 6.緑内障、後囊白内障(頻度不明) 7.血栓塞栓症(頻度不明)</p> <p>その他(すべて頻度不明) 月経異常、下痢、悪心・嘔吐、胃痛、胸やけ、腹部膨満感、口渇、食欲不振、食欲亢進、多幸症、不眠、頭痛、めまい、筋肉痛、関節痛、満月様顔貌、野牛肩、窒素負平衡、脂肪肝、浮腫、血圧上昇、低カリウム性アルカローシス、中心性漿液性網膜剥離症等による網膜障害、眼球突出、白血球増多、ざ瘡、多毛、脱毛、色素沈着、皮下溢血、紫斑、線条、掻痒、発汗異常、顔面紅斑、紅斑、創傷治癒障害、皮膚菲薄化・脆弱化、脂肪織炎、発疹、発熱、疲労感、ステロイド腎症、体重増加、精子数及びその運動性の増減、しゃっくり</p>
備考	

DLd療法1コース目 観察記録①

所要時間:約7時間

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()
医師	指示医師: ダラザレックス (mg) 一般名(ダラツムマブ)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	カロナール錠(500mg) 1錠		内服(ダラザレックス開始30分前)	
	デカドロン錠(4mg) 5錠		内服(ダラザレックス開始30分前)	
	生食20mL+ポララミン 1A		静注(ダラザレックス開始30分前)	
	生食100mL		ルートキープ	
		生食1000mL+ダラザレックス 【Total 1000mLとなるように調製】	※下記参照 ※ フィルター付き 点滴ラインを使用	

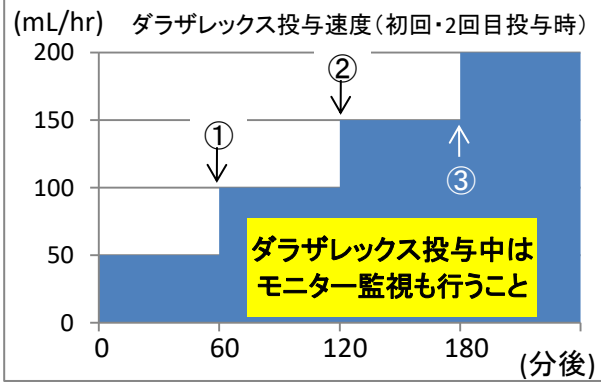


DLd療法1コース目 観察記録⑧

所要時間:約4時間30分

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()
医師	指示医師: ダラザレックス (mg) 一般名(ダラツムマブ)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	カロナール錠(500mg) 1錠		内服(ダラザレックス開始30分前)	
	デカドロン錠(4mg) 5錠		内服(ダラザレックス開始30分前)	
	生食20mL+ポララミン 1A		静注(ダラザレックス開始30分前)	
	生食100mL		ルートキープ	
生食500mL+ダラザレックス 【Total 500mLとなるように調製】		※下記参照 ※ フィルター付き 点滴ラインを使用		



DLd療法 観察記録(1コース目day15以降)

所要時間:約3時間

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()
医師	指示医師: ダラザレックス (mg) 一般名(ダラツムマブ)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	カロナー錠(500mg) 1錠		内服(ダラザレックス開始30分前)	
	生食20mL+ポララミン 1A		静注(ダラザレックス開始30分前)	
	デカドロン錠(4mg) 5錠		内服(ダラザレックス開始30分前)	
	生食100mL		ルートキープ	
		生食500mL+ダラザレックス 【Total 500mLとなるように調製】	※下記参照 ※ フィルター付き 点滴ラインを使用	

